

図書館だより

第25号

八千代市立大和田図書館 482 - 3240

八千代台図書館 482 - 0912

勝田台図書館 484 - 4946

緑が丘図書館 489 - 4946

ホームページ <http://www.library.yachiyo.chiba.jp>

より良い図書館サービスをめざして！

*貸出冊数100万冊を突破！

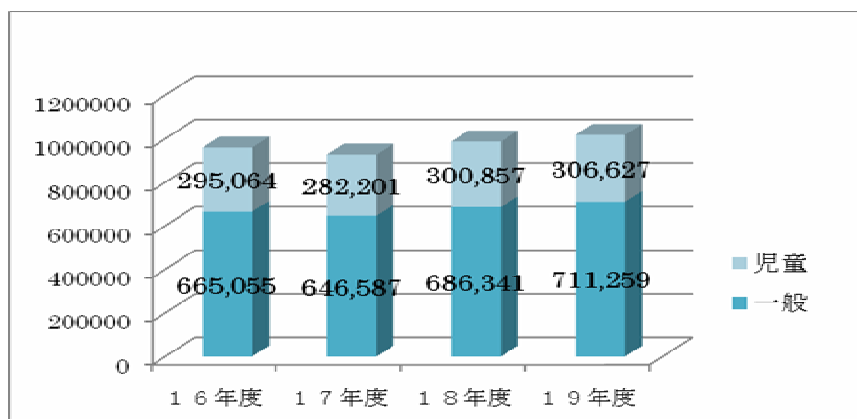
平成19年度(4月～3月まで)は市内4図書館の貸出冊数が100万冊を超えました。貸出冊数の増加は昨年、10月の電算システムの更新やホームページのリニューアルにより、パスワードの自動発行がホームページ上でもできるようになり、ホームページや館内パソコンからの予約が容易になったことが大きく影響しています。また、毎日、物流便が巡回して4図書館の本や雑誌、視聴覚資料がいつでも利用できる環境も利用の増加につながりました。

新たに19,907冊の本を購入し、平成20年3月末の市内図書館の蔵書冊数は420,434冊。リクエストも155,013冊を処理し、提供しました。

市民の25.8%の方が図書館を利用しており、公共施設の中でも高い利用率となっています。より多くの方に利用していただくためにもサービスの充実とPRをしていきたいと思っております。

貸出冊数の推移

(単位:冊)



利用状況の推移(市内4図書館の合計)

	蔵書冊数	貸出冊数	リクエスト処理冊数
16年度	371,641冊	960,119冊	120,365冊
17年度	387,908冊	928,788冊	116,608冊
18年度	399,162冊	987,198冊	139,851冊
19年度	420,434冊	1,017,886冊	155,013冊

登録者数



47,267人

市民登録率



25.8%

図書館で疑問や課題を解決してみませんか？

図書館の資料や情報を使って、利用者の調べ物のお手伝いをしています。市内の4図書館をはじめ、市町村立図書館、県立図書館、国会図書館、大学図書館と連携をとり、取り寄せもできますので、窓口でお気軽に職員にお尋ねください。図書館のホームページからのメールレファレンスも受付しています。

次のような相談があり、図書館の資料を活用して解決しました。

新会社法について詳しく知りたい。

がんの手術をしたが、近くに患者会があれば入りたいので、患者団体を知りたい。

認知症の介護をしている人の手記を読みたい。

大学の推薦入試（心理学部）で小論文を書くのに参考になる資料を探してほしい。

蕎麦職人になるための、指南書となるような本を探している。

また、緑が丘図書館ではビジネス支援として、参考図書や新聞記事データベース（朝日・日経）官報情報サービスの提供や就職・資格・検定・起業コーナーを設置しています。

阿蘇・睦公民館で、八千代市内の各図書館の予約した資料（図書・雑誌・CD・ビデオ等）の受け取り・返却ができます。

予約資料の受取館を阿蘇・睦公民館に指定された方には、公民館へお届けします。資料の用意ができましたら、電話又はメールで連絡します。

（公民館への配本は週4回 火・水・木・金曜日の午後4時頃）

貸出期間は配送日より2週間となりますので、早めに公民館までお越しください。

受け取り時間は、午前9時～午後5時となります。

（配送当日は午後4時～午後5時）

必ず予約された方の「利用券」をお持ちください。

家族の方であっても他の方の利用券は使用できません。

返却は、公民館の開館日 開館時間の午前9時～午後5時にお願いします。

公民館で受け取られた資料は、必ず「予約資料袋」に入れて、ご返却ください。

*資料の予約をするには

図書館のホームページや携帯電話サイトから予約するには、利用券とパスワードが必要です。

パスワードはホームページのパスワード登録、又は図書館の窓口で登録ができます。

図書館のホームページから、資料の予約や貸出状況や予約状況の確認ができます。

* 公民館内の情報端末「まなびネットやちよ」のリンク集から「八千代市立図書館」にアクセスしてください。



「第7回図書館教養講座」のご案内

- ・日時：平成20年5月24日（土） 午後2時～4時
- ・内容：「ぶんきち夫婦歩き旅～北海道から沖縄まで」
講演と関連図書の展示を行います。
- ・講師：串崎吉光氏
- ・会場：緑が丘プラザ5階集会ホール
- ・定員 80名
- ・申込 5月1日（木）から受付、緑が丘図書館へ電話（047 - 489 - 4946）
又は各図書館へ、ホームページからも可。

むかしの旅の達人 《明治24年、成田街道に行くのは・・・》

桜の花を過ぎて新緑にむかうこれからの季節は、まさに旅行シーズン。図書館でも、ガイドブックや旅行記などの貸出しが大きく伸びています。

さて、今から約120年前のこの季節、現在の八千代市域を通して、成田から千葉に向かった有名な男性がいます。彼の名は「正岡子規」。

俳人の正岡子規（本名 常規）は明治24年3月25日から4月2日（現在の暦で4/30～5/8）にかけて房総の地に遊び、その折の紀行文として「かくれ蓑」「隠蓑日記」「かくれみの句集」を残しています。

旧暦3月25日に本郷を立った子規は、市川で昼食を済ませ船橋大神宮に参拝した後、馬をやとって大和田宿に入っています。

江戸時代から成田参りの宿場町として栄えた大和田には、当時多くの宿がありました。子規の泊まった「榭屋」がどの場所にあったのかは残念ながら判明しませんが、翌日の朝、宿の女中にたたき起こされたり、佐倉では何と「西郷隆盛ジャネーカ」と間違えられたりしたという愉快的記述が、日記の草稿に見られます。

「隠蓑日記」は、親友の夏目漱石が明治22年に出版した房総旅行記の「木屑録」に対して書かれたもので、「若く見られた」「色男はつらい」等の楽しい記述に満ちており、漱石から「漢文日記まことに面白し」との評を受けています。

子規の旅姿は、きゃはんにはすががさ、わらじばきという定番スタイル。千葉で撮影したという写真が残っています。（西郷隆盛に見えるでしょうか？）

八千代市を横断する成田街道は、古い歴史を持つ幹線道路として親しまれており、船橋市に隣接する新木戸、大和田新田地区には成田への道を示す明治、江戸期の道標も残っています。

道の脇に咲く春の花々を眺めつつ、子規の足跡をたどってみるのはいかがでしょうか。



*参考文献 「かくれみの街道をゆく 正岡子規の房総旅行」 関 宏夫著 斎書房出版

《八千代台図書館文学散歩》

「上野戦争を歩く」

桜の花の咲きそめた3月21日、八千代台図書館恒例の「文学散歩」が行われました。今回は「上野戦争を歩く」をテーマに、台東区上野公園を訪れました。

現在の上野公園は、旧寛永寺の広大な寺域のなかに含まれ、明治維新の折は官軍対彰義隊の争いの舞台となりました。官軍の激烈な砲火のもと、全山は火の海となり、旧幕府の若い旗本を中心に組織された彰義隊は、わずか1日で敗走しました。この「上野戦争」は司馬遼太郎、早乙女貢、吉村昭などの著名な作家によって数々の歴史小説にとりあげられ、研究書も出ています。

官軍の弾痕を今にとどめる旧寛永寺本坊表門からスタート。西洋美術館の前庭を歩いてロダンの作品群を鑑賞。上野東照宮の参道から、上野戦争、関東大震災、空襲と数回の災いを免れた旧寛永寺五重塔を仰ぎ見たのち、各大名寄進の石灯籠群や左甚五郎作の龍の彫刻を拝観。続いては芭蕉の「花の雲鐘は上野か浅草か」の句で知られる時の鐘、顔だけが現存する上野大仏、そして清水観音堂では戦いの様子を描いた大絵馬を見学後、メインの彰義隊墓所へ。

時の政府をはばかり地中に埋められていたという当時の小さな墓石、明治期に建てられた山岡鉄舟筆の石塔や説明板をじっくりと見学し、西郷隆盛像の前で自由見学に移りました。



～上野東照宮唐門前で～

当日の参加者35名。降水確率70%の予報をみごと押さえ込み、風情あふれる花曇りのなか、上野の山の散策をなごやかに楽しんだ一日でした。

ついでに

大和田図書館長 多田 雅子

4月から大和田図書館長になりました多田です。昭和50年に八千代市の図書館に就職し、市内の4つの図書館を異動し、3年目に入ります。図書館職員冥利につきることは、利用者が2世代、3世代までと長く利用してくださっていることです。幼い頃に絵本を借りにきていた子が母親になり、ベビーカーに赤ちゃんをのせて本を借りに来る光景を目にしたりします。

これから、八千代市の図書館は生涯学習の中核となる図書館整備が重点課題です。平成16年に策定した「八千代市図書館基本構想」「八千代市図書館整備計画」の中でも中央図書館の必要性を掲げており、平成20年から平成22年までの「第3次総合計画後期基本計画 第4期実施計画」でも「八千代市中央図書館構想」「八千代市中央図書館整備計画」の策定を位置づけております。市民ひとりひとりが図書館を利用することにより、充実した人生を過ごせるような図書館活動を目指しておりますので、皆様のご支援をお願いします。

図書館だより 第25号 平成20年4月発行

編集 八千代台図書館 八千代市八千代台北6-7-6 047-482-0912